

本町地区まちづくり計画

(5年後のまちの姿は)



本町地区コミュニティセンター

令和 4 年 4 月

本町地区まちづくり協議会

I. 本町地区の概要（地域の特性：地理・観光・歴史・文化・行事等）

地理

本町地区は亀山市の旧市街地のほぼ中心部に位置し、馬の背状の高台にあり家屋が連なり街並みを形成しています。その合間に、新興住宅地が点在しています。南の低地には鈴鹿川が、北の低地には椋川が流れています。まちを離れると田畑が広がり自然と共存できるすばらしい地域です。

歴史・観光

城下町の一環で、1丁目には、江戸口門があり、城内外を分けていました。江戸口門より4丁目に向け旧東海道が東に延び、宿場町が形成され、ずいぶん賑わいました。地名も馬場、茶屋裏等のように昔の名残を伝えるものも多く残っています。また、各所に旧屋号看板がたくさん掲げられ、当時の商家の種類や規模が想像できるとともに、当時の暮らしぶりや息づかいを忍ぶことができます。また、昔ながらの旧家が所々に残っており、一層往年の様子が思い浮かべられます。

しかし、現在沿線はほとんど商店街も新しくなり、当時の面影が失われつつあり、かつ、その商店街もシャッターが閉まった街並みになりつつあります。たまに旧東海道をウォーキングを兼ねてまちを散策している姿が見られます。



文化

本町地区まちづくり協議会は、本町1～4丁目、上野町、高塚、高塚住宅の17の自治会で構成されています。地域での活動は、まちづくり協議会・自治会・各種団体等で行われています。それぞれの団体は、あらゆる年代層が参加・参画でき、共感しあえる行事を実施し、人と人とのつながりの大切さを学び

思いやりの心を育んで地域がひとつにまとまり、行動できることを目指して活動しています。しかし、各団体との連携は緩やかなものとどまっています。

また、この地区には幼稚園、保育所、小学校、高等学校と多くの教育施設があり、市内きっての文教地域になっています。子ども達の活発な活動がみられ、地域を明るく元気にしています。そのため子ども達の安全を確保する必要があります。



亀山東小学校



亀山高等学校

行事

主な地域の伝統行事としては、8月には、4丁目主催の地蔵祭りが行われ、盆踊り、金魚すくい、亀山みそ焼うどん等の楽しい催しが行われます。

10月は亀山八幡神社の祭礼があり、大提灯運び、神輿巡行、お稚児行列が行われます。1月には、旧東海道を中心に亀山大市が行われ、市内外から、たくさんの方がきます。年間を通じて多種多様な行事を行っています。



地蔵祭り



亀山大市

2017/01/28

1. 数字で見る市全体

[人口]

基準日 令和3年10月1日

		総人口	男	女
		49,428人	24,929人	24,499人
65歳以上	人口	13,411人	6,020人	7,391人
	比率	27.1%	24.1%	30.2%
14歳以下	人口	6,821人	3,547人	3,274人
	比率	13.8%	14.2%	13.4%

[年代別人口]

地区 \ 年齢	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	総計
人口	4,343	4,805	4,774	5,957	7,245	6,075	5,858	6,135	3,193	1,008	35	49,428
比率	8.79%	9.72%	9.66%	12.05%	14.66%	12.29%	11.85%	12.41%	6.46%	2.04%	0.07%	100%

地区 \ 年齢	0-3歳	4-6歳	7-12歳	13-15歳	16歳-18歳	18歳以下計
人口	1,523	1,369	2,980	1,414	1,402	8,688
比率	3.08%	2.77%	6.03%	2.86%	2.84%	17.58%

2. 数字で見る本町地区

[人口]

基準日 令和3年10月1日

		総人口	男	女
		1,878人	902人	976人
65歳以上	人口	591人	261人	330人
	比率	31.5%	28.9%	33.8%
14歳以下	人口	247人	118人	129人
	比率	13.2%	13.1%	13.2%

[年代別人口]

地区 \ 年齢	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100歳以上	総計
人口	159	164	144	239	256	215	219	252	173	57	0	1,878
比率	8.47%	8.73%	7.67%	12.73%	13.63%	11.45%	11.66%	13.42%	9.21%	3.04%	0.00%	100%

地区 \ 年齢	0-3歳	4-6歳	7-12歳	13-15歳	16歳-18歳	18歳以下計
人口	59	48	107	55	40	309
比率	3.14%	2.56%	5.70%	2.93%	2.13%	16.45%

[世帯]

	平成30年	令和3年	増減
総世帯	849世帯	888世帯	39世帯
単身世帯	72世帯	59世帯	-13世帯
複数世帯	46世帯	42世帯	-4世帯
高齢者世帯割合	13.9%	11.4%	-2.5%

Ⅱ．本町地区の現状と問題・課題

1．本町地区の現状(よい所)

- ・買い物や外食がしやすく比較的便利である。
- ・医療体制が充実している。
- ・くつろぎを与える公園、緑地がある。(本町広場、ひだまり公園)
- ・道路、下水道などの都市基盤が整備され住宅環境がよい。
- ・商業施設が比較的多い。(金融機関、商店等)
- ・まちの歴史が長い。(伝統文化がある)
- ・文教施設が充実している。

2．本町地区の現状(問題点)

- ・歴史あるまちであるが、顔と顔のつながりが薄い。
- ・まちづくり活動に参加する方が限定されている。
- ・公共交通の便が良くない。
- ・まちに活気が少ない。
- ・交通事故が多い。
- ・高齢化が進んでいる。
- ・防犯意識が薄い。
- ・空き家や空き地等の新しい問題が発生している。

3．現状の重点問題・課題

- 歴史あるまちですが、繋がりが薄く、住民相互のふれあい、コミュニケーションが一部にとどまっているので、強い絆をもち、助け合い、地域住民が安心して暮らせるまちにしなければなりません。
- 区域内には、県道566号亀山城跡上野町線(亀山東小前)と市道本町線及び栄町本町線(旧東海道)の2本の大きな道路が通っており、地域内の交通量は増えてきています。中でも、県道566号は、国道306号へのアクセスとして交通量が増えてきており、小学校や高等学校への通学において交通事故の危険性も高まっています。このようなことから、特に静かな住環境を保つ対策、お年寄りや子どもたちを交通事故から守るための対策を講じる必要があります。
- 本町地区は、旧東海道沿線に古い空き家、空き地が虫食いのように点在し、防犯上危険な点もあり、早急な解決が求められています。

- 高い台地に古くからの住宅が立ち並んでいます。これまでは、幸いにも大きな自然災害がなかったためか、防災活動が低調で、形だけになっているくらいがあります。平成27年度に実施された十数年に一度の地区をあげての防災訓練も参加者が少ない状況です。この低い意識を改め、地域が一体となった防犯・防災活動が根付くよう高めなければなりません。
- 「役員の負担が重い」「役員の引受手がない」「事業の運営が難しい」などの課題を解決していく必要があります。（後継者の育成）
- 各種団体が個別に活動しているため、連携を密にして効果的に事業を行っていく必要性があります。

Ⅲ．まちづくりの基本的視点

本町地区まちづくり協議会は、次の4項目を基本的視点としています。

1 地域住民が健康で愉しく生きがいのある生活が営めるまち

地域住民の集える場の確保と健康づくりを推進して、笑い声が絶えないまちづくりを目指します。

2 歴史、文化を継承し、新しい文化を創造するまち

イベントや地域での出来事など情報を共有し、歴史や文化を尊重するまちづくりをします。また、時代の変化に対応した、人材の育成と確保のため組織や事業等のあり方を研究します。

3 世代間交流・連携ができ、個人が輝き、助け合えるまち

生涯教育を推進して世代を超えた交流を生み出し、コミュニケーションを活発にし、一人ひとりの個性をみがき、ともに生きるまちづくりをします。

4 安全安心な地域防災活動のできるまち

子どもたちをはじめ、地域みんなで協力して犯罪や交通事故から守り、いつ発生してもおかしくない地震の被害や風水害を最小限に止めるために、地域住民が力を合わせて安全安心なまちづくりをします。

この、基本的視点を念頭に置いて、「本町地区まちづくり協議会」の基本目標を次のとおりとしました。

基本目標
心豊かで思いやりのある個が輝く
安全なまち

この目標を達成するためには、地区の総合力を結集しなければなりません。しかし、課題や問題は複雑化、高度化、多様化の傾向にあります。例えば、自治会や民生委員、老人会、消防等との連携を図ったり、地区民の参加や帰属、共同、連帯等の意識を高揚するためにもある程度の時間や労力が必要です。そのため、計画期間を平成29年4月より平成39年3月と設定しました。長期の目標であり、その期間の社会の変容により、随時修正を加えることは当然です。

IV. 地域の目指す姿

《基本的視点1》 地域住民が健康で愉しく生きがいのある生活が営めるまち

本町地区においても少子高齢化が急速に進展する中、地域において互いに支えあう福祉意識の向上と体制づくりが急務となっています。高齢者がこれまで培ってきた豊かな経験や知恵を活用しつつ、子どもや若者とのふれあいを通じ、健康で生き生きと暮らせる生涯現役のまちである必要があります。子育て

世代においても、子どもを安心して生み育てられるよう、地域における子育て支援の充実や、保育所、学童保育所等の充実を図る必要があります。また、困りごとなどへの対応を家庭内で抱え込むことのないよう、地域や関係団体が連携を図りながら、誰もが相談しやすい体制づくりと、心身ともに支援できる体制づくりが必要です。

活動内容

- 1 あいさつ運動の推進
- 2 体育行事の開催と充実(ユニカール大会、グラウンドゴルフ大会、ミニ運動会等)
- 3 文化活動の充実(65歳以上交流ふれあい広場と敬老会、文化祭等)
- 4 コミュニティセンターの活用(趣味のサークル、交流サロン等)
- 5 幼稚園・保育園児、小学生、高校生との交流会の開催
- 6 コミュニティセンターでの文化講座の開催(成人教室、出前講座)
- 7 生涯学習の環境づくり

《基本的視点 2》 歴史、文化を継承し、新しい文化を創造するまち

本町地区は城下町として発展した歴史ある地域です。本町地区の歴史的な風情、情緒、たたずまいは、城下町誕生から連綿と受け継がれ、創造されてきた歴史的な建造物、そこを舞台とした人々の暮らし、そこで育まれてきた伝統的行事や祭礼などにより形成されてきました。しかし、それらは、急速な高齢化、都市化の進展や働き方の変化とあいまって、徐々に失われつつあります。

このような中で、地域の歴史や文化を学び、郷土への誇りと愛着の心を育み、もっと関心をもって、次代に継承、保存する必要があります。新しい時代に向けて史跡や文化財を活用し、豊かな生活につなげていくことが大切です。

活動内容

- 1 伝統産業を活用した文化講座の開催
- 2 文化の継承と保存
- 3 文化の創造(文化祭等)
- 4 地域の遺跡、旧跡、文化財の発掘、調査とマップ作成
- 5 地域行事への参加(地蔵祭りの継承と発展等)
- 6 伝統行事への支援
- 7 亀山大市の充実と発展

《基本的視点 3》 世代間交流・連携ができ、個人が輝き、助け合えるまち

すべての住民が心身の健康を実感し、明るく幸せな生活を営んでいくためには、一人ひとりが自分を大切にし、お互いに認め合い、支え合うことのできる地域社会の実現が必要です。そのため、子どもたちが互いに人格を尊重し健やかに育ち、高齢者が生きがいを感じるまち、障がいを持つ人が地域からの支援を受け、充実した社会生活が送れる地域でなければなりません。すべての住民が将来にわたって健康を意識し、心豊かにいきいきと暮らすことのできるまちを目指す必要があります。認め合い支え合う社会への理解をさらに深めていくとともに、地域に根ざした保健・医療・福祉の充実のため行政や関係団体との連携を進めます。さらに、安心して子育てができるまちを目指して、子どもたちや子育て家庭へ、学業格差や虐待等様々な問題に迅速に対応し支援に努めます。

活動内容

- 1 世代間交流の促進
- 2 全ての世代が参加できる行事の開催(ミニ運動会等)
- 3 高齢者の経験、知識の活用(いきいきサロン等)
- 4 独居高齢者の見守り交流活動(民生委員や老人会の訪問活動等)
- 5 高齢者、障がい者への支援活動
- 6 アパート・外国籍住民の地域社会への参加促進
- 7 民生委員、福祉委員の活動の支援
- 8 地域と保育所、幼稚園、小学校、高等学校、PTA との連携の強化(文化祭等)
- 9 まちづくり協議会と自治会や各種団体との連携の強化

《基本的視点 4》 安全安心な地域防災活動のできるまち

各地で自然災害が多発し、深刻な被害が発生していますが、近年の本町地区では、比較的、自然災害の発生は少ない状況にあります。しかし、地震や台風はいつ襲ってくるかもしれません。そこで、行政の防災体制や減災への取り組みはもとより、日頃から住民が防災意識を高め、家庭や身近な地域を単位とした防災体制を強化する必要があります。

また、さまざまな犯罪が私たちの生命や暮らしを脅かす現在、家庭や地域における防犯意識を高め、犯罪を未然に防止する環境づくりが必要です。また、隣近所でお互いを見守る仕組みだけでなく、子どもを地域のみんなで見守る地域の見守り力の向上も必要です。

地区内を走る県道や市道の交通量も年々多くなっています。このような中、住民が安全で円滑に移動できるよう、公共交通機関の利便性を高めたり、そこに住む住民の静かな住環境を保つことに重点をおいた道路の整備など多方面で行政との協働を構築する必要があります。また、道路を利用する人の交通ルー

ル順守の徹底や交通マナーの向上、高齢者の運転操作ミス問題など交通安全意識の向上が課題となっています。

活動内容

- 1 子どもの登下校の見守り(旧東海道、県道566号(亀山東小前))
- 2 声かけ運動の実行
- 3 通学路の危険個所の把握と解消
- 4 本町地区自主防災組織の結成・充実
- 5 防災用具の充実
- 6 危険個所の調査、防護対策(空き家、空き地対策、管理)
- 7 講演会の実施
- 8 住民の静かな住環境を保ち、高齢者や障がい者が安心し、外出できる道路の整備及び地区内公共交通網の充実
- 9 警察との連携の強化
- 10 消防団活動への支援と協力
- 11 老人会との連携

V. 本町地区まちづくり協議会の計画推進体制

まちづくり協議会は、地域の課題解決や魅力・長所を伸ばし育むために、地区の住民や各種団体が話し合い、調整・協議をしながら実践をしていく場です。住民や各種団体の持ち味を活かしながら、横につながり合い、将来像やまちづくり目標の実現に向けて、協働で計画を推進していきます。

☆ 自分たちのまちは自分たちでつくる【自主性】

「自分ごと」としてまちの今とこれからを考え、自主的・主体的に活動していきます。

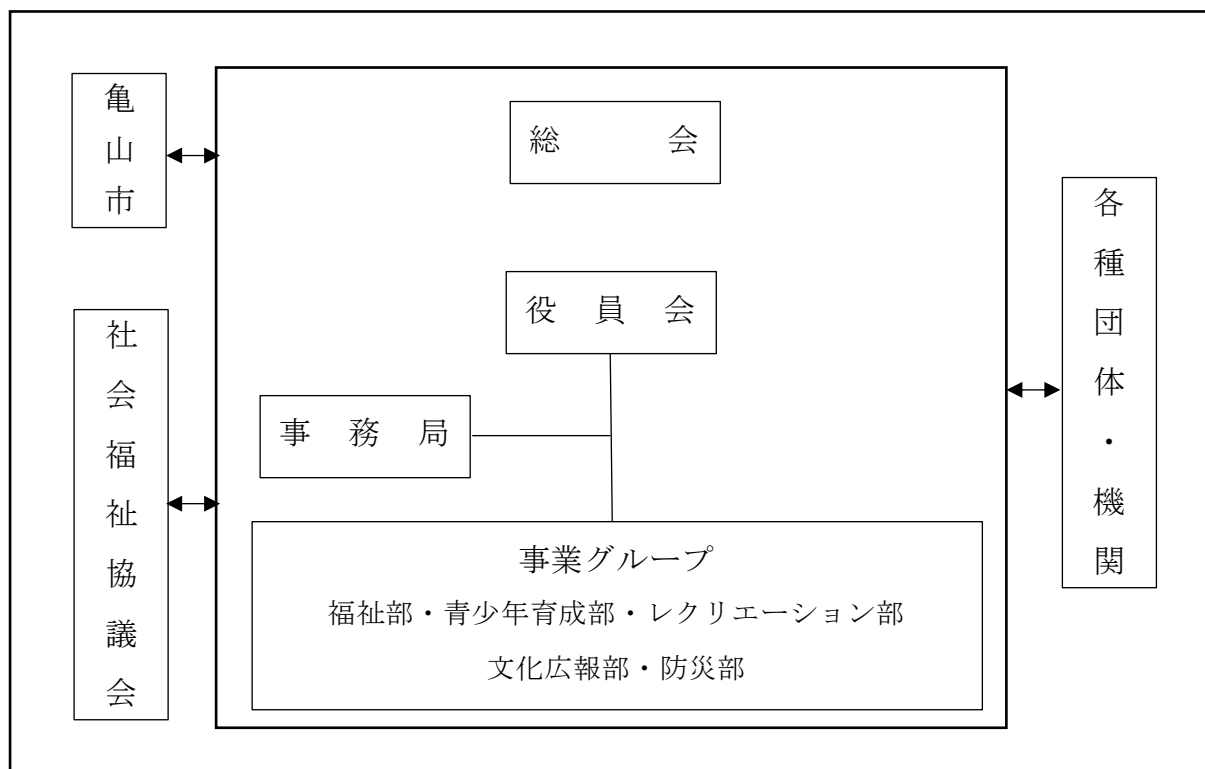
☆ 想いを共有し、みんなのために、みんなで取り組む【多様性・民主性・透明性】

☆ 情報を共有し合い、みんなで少しずつ力を持ち寄り、それぞれの持ち味を活かしながら取り組んでいきます。【協力性・独自性】

☆ まちづくり協議会と行政との関係【補完性】

お互いに補完し合いながら、まちづくりを行います。

【関係図】



まちづくり協議会事業計画（部会別）

（１）〔福祉部会〕

- 絆を大切にし、心あたたかいまちづくり -

1. 春のつどい（５月）
2. 「６５歳以上交流ふれあい広場と敬老会」（９月）
3. いきいきサロン「地域の茶の間」（年１２回）

- ・ 家庭や地域での健康づくり活動の推進を目指す。
- ・ 温かいふれあいのある地域づくりを目指す。



春のつどい



いきいきサロン

（２）〔青少年育成部会〕

- 地域の歴史・文化を生かし、地域で子どもを育むまちづくり -

1. 里山公園体験学習（７月）
2. 夏休み課題手助け（工作他）（８月）
3. クリスマス会（１２月）

- ・ 地域での活動を通して、子どもを育てる仕組み作りとその推進を図る。
- ・ 地域を知り、地域を誇りに思う地域愛を育てる活動の推進を図る。
- ・ 地域の文化遺産の再発見と新たな地域づくり活動の推進を図る。



凧作り教室

(3) [レクリエーション部会]

- 賑わいのある元気なまちづくり -

1. ユニカール大会(6月)
2. グラウンドゴルフ大会(5月・9月・11月)
3. ミニ運動会(10月)

- ・スポーツを楽しみ、だれもが気軽に参加できる体制づくりを目指す。
- ・体力づくり活動の推進を目指す。
- ・世代を超えたふれあいを強め、楽しく元気になれる活動を目指す。



(4) [文化広報部会]

- 安心して暮らせる、住みよいまちづくり -

1. 文化祭(11月)
2. 寄せ植え講座(12月)
3. まちづくり協議会たよりの発行(6月・9月・1月の年3回)

- ・地域での事業に、世代を超えた積極的な参加を目指す。
- ・地域の誇る歴史や文化の再発見を目指した活動の推進を図る。



(4) [防災部会]

- 安心して暮らせる、住みよいまちづくり -

1. 避難訓練(9月)
2. 防災講習会(10月)

- ・ だれもが安心して暮らせる地域づくりを目指す。
- ・ 地域の連帯感と絆を深め、協力し合う地域づくりを目指す。
- ・ 災害時に備えて、個人や集団での対処法を学び、確かな判断力の育成を目指す。



防災講習会

令和４年度 まちづくり協議会事業及び日程

事業名	場所	担当部	実施月日・曜日		備考
春のつどい	東小体育館	福祉	５月１８日	水	
春のグラウンドゴルフ（予備日なし）	東小運動場	レク	５月２８日	土	
ユニカール大会	東小体育館	レク	６月１１日	土	
まち協便り第１７号発行	コミセン	文化	６月３０日	木	
里山公園体験学習	里山公園	青少年	７月２３日	土	
夏休み課題手助け（工作他）	コミセン	青少年	８月２０日	土	
６５歳以上交流ふれあい広場と敬老会	東小体育館	福祉	９月 ７日	水	
避難訓練（いきいきサロン９月）	コミセン	防災	９月２０日	火	
秋のグラウンドゴルフ	東小運動場	レク	９月２４日	土	
〃 予備日	東小運動場	レク	９月２５日	日	
まち協便り第１８号発行	コミセン	文化	９月３０日	金	
ミニ運動会	東小体育館	レク	１０月２２日	土	
救急法講習会	コミセン	防災	１０月２９日	土	
文化祭	コミセン	文化	１１月 ６日	日	
第３回グラウンドゴルフ	東小運動場	レク	１１月１９日	土	
〃 予備日	東小運動場	レク	１１月２６日	土	
クリスマス会	コミセン	青少年	１２月 ３日	土	
寄せ植え講座	コミセン	文化	１２月１６日	金	
まち協便り第１９号発行	コミセン	文化	１月 １日	日	
いきいきサロン「地域の茶の間」	コミセン	福祉	毎月第３火曜日		

※ 新型コロナウイルスの拡大感染により、行事の中止や日程変更をする場合があります。